

金沢市「ユースプロジェクト」への参画

団体名●池田ゼミナール／代表者名●池田幸應(人間科学部教授)

はじめに

金沢市では、次世代を担う青少年の主体的な学びや青少年相互及び他世代との交流活動を通して、健全で活力に満ち、創造性豊かな青少年の育成を図るため、2019年9月に青少年の活動拠点として「長土堀青少年交流センター」が設置された。この施設を拠点に「かなざわユースプロジェクト」事業がスタートし、高校生から30歳までの青少年を対象に金沢市についての理解を深め、次世代としての地域創生に寄与する人材育成をめざしている。この活動は、人間科学部池田ゼミナール20名のメンバーを中心に27名の高校生、大学生、社会人が所属している。

活動内容

前述したセンター開設に向けて、7月20日(土)に「かなざわユースプロジェクト」の発足式が行われ、メンバー相互の紹介、活動方針、ミニ講話(筆者担当)が行われた。



写真1 左：長土堀青少年こよりゆうセンター



写真2 右：ユースプロジェクトキャラクター「わかば」

その後の主な活動については以下のとおりである。〔8/22(木) 防災グループの地域の防災訓練に向けた事前学習、公民館グループの公民館活動について学習会、8/25(日)新神田校下市民防災訓練への参加、9/4・19・20・26・10/3・17・31・11/3 長土堀公民館の文化祭の企画会議及び打合せ・準備、11/15(金)野外活動に関する安全管理研修、11/30(土)野外活動の現地研修、1/26(日)長土堀公民館「ミニ運動会」、2/1(土)ユースプロジェクトオリジナルキャラクターの名付け選考会、レクリエーション、交流会、2/2(日)キゴ山ふれあい研修センター〕

なお、3月11日(水)に本年度の活動成果報告会及び青少年団体やセンター利用者との交流会が開催予定である。



写真3 長土堀公民館「ミニ運動会」運営メンバーの様子

成果、結果の考察

金沢市教育委員会生涯学習課の主管事業としての次世代人材育成及び地域活性化に向けた活動であり、所属メンバーにとっては、直接的に地域での諸活動に実践的に参画し、メンバー相互のみならず、地域の方々と行政担当者とのやり取りを通して、企画、運営に深く関わることができたことで、企画・運営力、そして主体的実践力が強化できたものと考えられる。

今後の課題、展望

今回は、年度途中からの活動スタートであり、新規事業としての活動展開であったため、その場その場での対応が求められた。来年度も継続される活動であり、より多様なメンバー参加が期待される。